

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成23年12月1日(2011.12.1)

【公表番号】特表2011-508727(P2011-508727A)

【公表日】平成23年3月17日(2011.3.17)

【年通号数】公開・登録公報2011-011

【出願番号】特願2010-538227(P2010-538227)

【国際特許分類】

C 07 K 5/107 (2006.01)  
 A 61 P 25/04 (2006.01)  
 A 61 P 1/04 (2006.01)  
 A 61 P 29/00 (2006.01)  
 A 61 P 25/30 (2006.01)  
 A 61 K 38/00 (2006.01)

【F I】

C 07 K 5/107 Z N A  
 A 61 P 25/04  
 A 61 P 1/04  
 A 61 P 29/00  
 A 61 P 25/30  
 A 61 K 37/02

【手続補正書】

【提出日】平成23年10月11日(2011.10.11)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

ペプチドが、SEQ ID NO:13、SEQ ID NO:1、SEQ ID NO:2、SEQ ID NO:3、SEQ ID NO:4、  
 SEQ ID NO:5、SEQ ID NO:6、SEQ ID NO:7、SEQ ID NO:8、SEQ ID NO:9、SEQ ID NO:10、  
 SEQ ID NO:11、SEQ ID NO:12、SEQ ID NO:14、SEQ ID NO:15、SEQ ID NO:16、SEQ ID NO:1  
 7、SEQ ID NO:18、SEQ ID NO:19、SEQ ID NO:20、SEQ ID NO:21、SEQ ID NO:22、SEQ ID  
 NO:23、SEQ ID NO:24、SEQ ID NO:25、およびSEQ ID NO:26より選択される配列を有し、  
 塩が、マレイン酸塩、塩酸塩、乳酸塩、およびアスパラギン酸塩からなる群より選択され  
 る、ペプチド塩。

【請求項2】

ペプチドがSEQ ID NO:13である、請求項1記載のペプチド塩。

【請求項3】

塩が塩酸塩である、請求項2のペプチド塩。

【請求項4】

ペプチドが、SEQ ID NO:13、SEQ ID NO:1、SEQ ID NO:2、SEQ ID NO:3、SEQ ID NO:4、  
 SEQ ID NO:5、SEQ ID NO:6、SEQ ID NO:7、SEQ ID NO:8、SEQ ID NO:9、SEQ ID NO:10、  
 SEQ ID NO:11、SEQ ID NO:12、SEQ ID NO:14、SEQ ID NO:15、SEQ ID NO:16、SEQ ID NO:1  
 7、SEQ ID NO:18、SEQ ID NO:19、SEQ ID NO:20、SEQ ID NO:21、SEQ ID NO:22、SEQ ID  
 NO:23、SEQ ID NO:24、SEQ ID NO:25、およびSEQ ID NO:26より選択される配列を有し、  
 塩が、マレイン酸塩、塩酸塩、乳酸塩、およびアスパラギン酸塩からなる群より選択され

る、ペプチド塩を含む薬学的組成物。

【請求項5】

ペプチドがSEQ ID N0:13である、請求項4記載の薬学的組成物。

【請求項6】

塩が塩酸塩である、請求項5記載の薬学的組成物。

【請求項7】

$\mu$ -オピエート受容体活性によって調節される状態を治療するための、請求項4記載の薬学的組成物。

【請求項8】

ペプチドがSEQ ID N0:13である、請求項7記載の薬学的組成物。

【請求項9】

塩が塩酸塩である、請求項8記載の薬学的組成物。

【請求項10】

無痛法を提供するために、または胃腸障害、炎症、および薬物依存からなる群より選択される状態を治療するために用いられる、請求項7記載の薬学的組成物。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0011

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0011】

本発明は、本発明の塩を調製する方法をさらに提供する。

【請求項1001】

ペプチドが、SEQ ID N0:1～26より選択される配列を有し、塩が、マレイン酸塩、塩酸塩、乳酸塩、およびアスパラギン酸塩からなる群より選択される、ペプチド塩。

【請求項1002】

ペプチドがSEQ ID N0:13である、請求項1001記載のペプチド塩。

【請求項1003】

塩が塩酸塩である、請求項1002のペプチド塩。

【請求項1004】

ペプチドが、SEQ ID N0:1～16より選択される配列を有し、塩が、マレイン酸塩、塩酸塩、乳酸塩、およびアスパラギン酸塩からなる群より選択される、ペプチド塩を含む薬学的組成物。

【請求項1005】

ペプチドがSEQ ID N0:13である、請求項1004記載の薬学的組成物。

【請求項1006】

塩が塩酸塩である、請求項1005記載の薬学的組成物。

【請求項1007】

$\mu$ -オピエート受容体活性によって調節される状態を治療する方法であって、  
このような治療を必要とする患者に、ペプチドが、SEQ ID N0:1～26より選択される配列を有し、塩が、マレイン酸塩、塩酸塩、乳酸塩、およびアスパラギン酸塩からなる群より選択される、ペプチド塩を投与する工程  
を含む方法。

【請求項1008】

ペプチドがSEQ ID N0:13である、請求項1007記載の方法。

【請求項1009】

塩が塩酸塩である、請求項1008記載の方法。

【請求項1010】

無痛法を提供するために、または胃腸障害、炎症、および薬物依存からなる群より選択される状態を治療するために用いられる、請求項1007記載の方法。